

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 2年 3月 9日

事業所名 療育センターもっこ

保護者等数（児童数） 回収数 25/33 割合 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	19	3		3			
	2 職員の配置数や専門性は適切である	22	1		1			
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	24	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	23	1		1	丁度良い広さで子供のことが見える空間となっている。		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	22	2		1			
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている					子どもの苦手なこと、不得意なことをよく取り組んでもらっており感謝している。（2人） お願いとして発達チャートの黒の塗りつぶしは内容が分からないので見えるようにしてほしい。	発達チャート表の作成方法を変更し随時対応しています。 ガイドラインの支援内容に沿っているか分かりにくい書式であるため、次年度に向けて改善していきます。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	22	1		2	計画がどのようなものか今一つ分かっていない。 苦手な部分を補うような内容になっていると思う。		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	21		1	3	長い期間、箸の練習をしているように思う。 本人のレベルに合った内容で進めてくれていると思う。		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	園との併用利用児については、日々の園生活の様子を伺っています。						
	10 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25					丁寧に説明してもらっている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	20	2	1	2		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われている	11	6	3	5	よく観察していただき、どんな行動や発言をしているのか知ることが出来ている。 様子や質問には応えてもらっていると思いますが、家でできる工夫など具体的な手立てをあまり言われなと感じている。もっとできることがあるのではないかと考えているので。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	22	2			参観日みたいなものがあれば参加したいと思えます。 迎えの際に丁寧に様子を教えてもらっている。 送迎時に子供の様子を丁寧に説明してもらえるが、毎回違う先生なのもあり、長いスパンで子供に必要な支援が必要か、事業所の方針はどのようなか、親はどうしたらいいか等の話を誰とすればよいか分からない。	支援計画説明時に希望者へご案内しています。 個別のケース担当等は設定しておらず、全職員にて関わらせていただいています。相談窓口としては児童発達管理責任者になりますが、日々の相談については現場職員が都度対応しており、相談内容については他職員も共有事項としてすべて確認しているため、どの職員でもご相談を受けるよう引き続き行っていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	20	3		1	面談もあり、ゆっくり話せる機会があり有難い。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	20	2	1	2	なかなか参加はできていないが、茶話会など情報交換の場が設けられていて有難い。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	21	1			希望すれば対応していただける。 病院はどこが良いのか相談をした際に、迅速に対応していただいた。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	19	3			集団、個別、おやつ、プレイのことを丁寧に教えていただき、行動がよくわかる。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	9	3		10		
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	19	1		2	配慮されていると思う。	

		チェック項目	はい	どちら とも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マ ニュアル、感染症対応マニ ュアル等を策定し、保護者に周知・ 説明されている。また、発生を 想定した訓練が実施されている	5	2	2	13		
	21	非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救出、その他必要な訓 練が行われている						
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしてい る	21	1			とても楽しみにしています。	
	23	事業所の支援に満足している	19	3			散歩など保護者同伴の課外活動がない。 本人に合った支援をして頂いていると思 う。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 9日

事業所名 療育センターももっこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1	遊び方により、空間が手狭な日もあります。
	2	職員の配置数は適切である	2	1	加配職員を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		活動内容によって使用する空間を分ける等の工夫をおこなっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		清掃は毎日行い、定期的に塩素消毒も行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3		毎月の運営会議にて業務に関する確認や改善点を議題にあげて共有しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		年1回アンケートを実施し、結果を共有しています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		ホームページで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	法人内で実施しているサービス向上委員会にて評価機会を設定しています。現場職員への周知に努めます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1	法人内で定期的に研修を行っている。外部研修の案内は全職員に行っているが、参加状況は充分とはいえないため、参加できるようにしていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3		主にNCプログラムを基にアセスメントを行い、保護者の方とも面談の時間をとって作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	行動面に関しては保護者の方からの聞き取りや観察が主であり、ツールの見直しは必要な状況であるため検討します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	1	発達支援だけでなく、園との連携なども計画に取り入れています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3		定期的に確認し、療育場面に取り入れていますが、より意識して努めていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		療育内容は相談し合って検討しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		活動は月ごとに変更し、NCプログラム以外からも情報を集めて個別に応じた設定となるよう工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3		それぞれの子どもの課題に応じた場面を設定しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	1	口頭で声掛けをし合い、確認しながら療育をすすめています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	反省会を行い、共有すべき事項を確認するようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		連絡帳へ詳細に記録し、コピーを保管しています。電子支援記録システムを活用し、計画見直しの際に確認しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3		半年に一度は再アセスメントを行い、面談を行って計画を見直しています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1	機会が少ないのが現状です。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3		必要に応じて地域の保健師や相談員との情報交換を行っています。新規受け入れ時には密に連絡をとっています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当者がいないが、今後必要となってきた場合に備えての対応策は必要。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当者がいないが、今後必要となってきた場合に備えての対応策は必要。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		園への訪問や情報提供書類の作成や事業所への見学に来てもらっての情報共有も行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	就学先との情報共有は十分ではなく、保護者を介しての移行支援となっています。共有体制づくりが今後の課題です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	福祉協会、自立支援協議会こども部会等の専門職会議に参加しているが、十分ではないため、他見学等の機会を増やしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		3	現利用児の多くは、所属園（幼稚園、保育園等）の併用にて通われているため、療育場面での設定は予定していません。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3	法人内の他事業所職員にて参加し、情報共有をしています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		利用日には必ずその日の様子を伝えたり、家庭や園生活で変わりがないか尋ねたりしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		3	家族支援プログラムについての知識、技術向上のための取り組みが必要（研修参加等）となっています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		契約時に管理者より時間をとって説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3		保護者の方と個別に話す機会を作り、説明、確認を行っています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		利用日には都度相談を受けられる体制をとり、必要に応じて個別に面談の時間を設けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		定期的に保護者の方対象の茶話会を企画、開催しています。今年度は2カ月に1回のペースで実施しました。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		契約時に相談窓口をお伝えし、相談や申し入れがあった場合には報告をあげて職員に周知、改善を促しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		3	行事等のお知らせは都度配布しているが、実施後の報告方法が曖昧であるため、お知らせボード等を検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		視覚支援ツールの使用等を活用しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	法人内では実施はあるが、事業所単独での行事は実施していません。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	2	マニュアルの作成はしているが、周知、訓練実施が十分ではないため、今後の課題。保護者への実施状況報告書を作成（掲示）していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		年間計画を立て、計画的に訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	1	予防接種に関する情報の確認は不十分なため、聞き取り内容に加えるかは検討します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		医師の指示書があれば対応しています。現状は保護者の方からの聞き取りにはなるが、対応は行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	起きた事柄については共有しているが、書面での作成は徹底できていないため徹底していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		法人内にて研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明している	3		契約時に説明し、職員も周知しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。